

令和5年度神戸大学後期日程 入試問題『出題の意図・評価ポイント』

小論文（国際人間科学部発達コミュニティ学科・環境共生学科・子ども教育学科）

- ※1 この『出題の意図・評価ポイント』についての質問、照会には一切回答しません。
- ※2 配点（素点）は入試問題に記載してあります。
なお、本学入学者選抜のための教科・科目ごとの配点については、令和5年度神戸大学学生募集要項を参照してください。

【出題の意図・評価ポイント】

問一 出題文の読解力を問う問題である。津波想定のかえ方のリフレーミングの必要性や町民の一致団結のもとに津波に向かい合う機運を作り出すことの必要性について理解し（理解力）、的確に記述できているか（表現力）が評価の要点になる。

問二 出題文の読解力を問う問題である。最先端のシミュレーション技術が地域にとって精緻なものであるとは決して言えないことを住民に理解してもらう必要性や住民が次の地震をあたかも巨大津波であると固定的に考えて避難そのものをあきらめてしまわないようにする必要性について理解し（理解力）、的確に記述できているか（表現力）が評価の要点になる。

問三 出題文の読解力を問う問題である。「頑張らない避難」についての著者の考え方とその提案理由について理解し（理解力）、的確に記述できているか（表現力）が評価の要点になる。

問四 出題文の主題である「フューチャー・デザイン」をめぐる「現在世代」と「仮想将来世代」に関する議論について理解し（理解力）、その議論を踏まえた上で「世代を超えた持続性に関する政策課題」に関する思索や主張が展開されているか（思考力・表現力）、「世代を超えた持続性に関する政策課題」の解決への貢献に向けたビジョンや本学科での学びへの目的意識および主体性が論じられているか（表現力）を総合的に問う問題である。